

# よい病院の 評価基準の検討

あなたは、その病院で  
満足ですか？

# 目的

今日、患者も手軽に種々の医療情報を得ることができ、病気のことや治療する病院、医師のことを調べ、選ぶという時代に変わりつつある。また、医療事故の増加も、患者の病院選びを助長している。

病院選びの資料として病院ランキング本が多く出版されている。しかし、私達は、ランキング本の評価が必ずしも正しいとは限らないと感じた。

そこで今回、病院ランキングを患者の目からの視点に変え、患者にとって良い病院とはどういうものなのかを検討し、独自の病院評価リストを作成、病院を評価してみようと考えた。

# 方法

1. 病院の評価をしている本(いわゆる病院ランキング本)の検討
2. 各自が、自分の理想とする病院をイメージして、項目を挙げていった。
3. 各項目を分類した。
4. 分類の妥当性を検討した。
5. 独自の病院評価リストを作成した。
6. 実際に、いくつかの病院を評価した。

# 病院の評価をしている本 (いわゆる病院ランキング本) の検討

Nikkei Hospital Survey

## 日経 病院 ランキング

日本経済新聞社 編

安心して利用できる  
病院は?

「患者にやさしいか」「安全を重視しているか」「医療の質を重視しているか」「経営が安定しているか」という4つの視点から、病院の総合力を初めて評価する。

全国約2000病院(ベッド数200以上)を対象に調査!


日本経済新聞社 定価(本体1200円+税)

最新 がん、心臓病、脳卒中治療の「総合力」が最も高い病院はどこだ?

## 全国病院 実力度 ランキング

HOSPITAL GUIDEBOOK

社会復帰を左右するケア&リハビリの質を評価した日本で初めての病院ガイドブック



【日本の主要病院7600施設へのアンケート調査による「実力度」を大公開!】

病院は「症例数」を基準に「総合力(=ケア&リハビリカ)」で選べ!

宝島社

日経メディカル・ブックス

日経Medical

## 全 優良病院 ランキング

医師 1万5000人に聞いた 国

日経メディカル編 腕利き医師620人のリスト付き

12の病気別、47都道府県別に優良病院をリストアップ

町のお医者さんが信頼する3161病院を一挙掲載!

日経BP社

**販売されているランキング本には2種類ある。**

- ・個別の病気の治療に強い(医療の質の評価が高い)病院を紹介しているもの
- ・病院の総合力で評価しているもの

現在の医療は、名医がいるかどうか、より、チーム医療に優れた病院が患者に選ばれるという意見もある。

# 自分の理想とする病院のイメージ

各自が、自分の理想とする病院をイメージして、  
項目を挙げていった。



# 独自の病院評価リスト

独自の病院評価リストを作成した。

お配りしたリストをご覧ください。

# 病院評価リストの 項目の分析



# 評価基準の分類

患者にやさしい

医療の質

安全重視

経営重視

# 評価基準の細分類

患者にやさしい

アメニティ・施設  
接客・サービス  
診療体制  
情報開示  
プライバシー

# 評価基準の細分類

医療の質

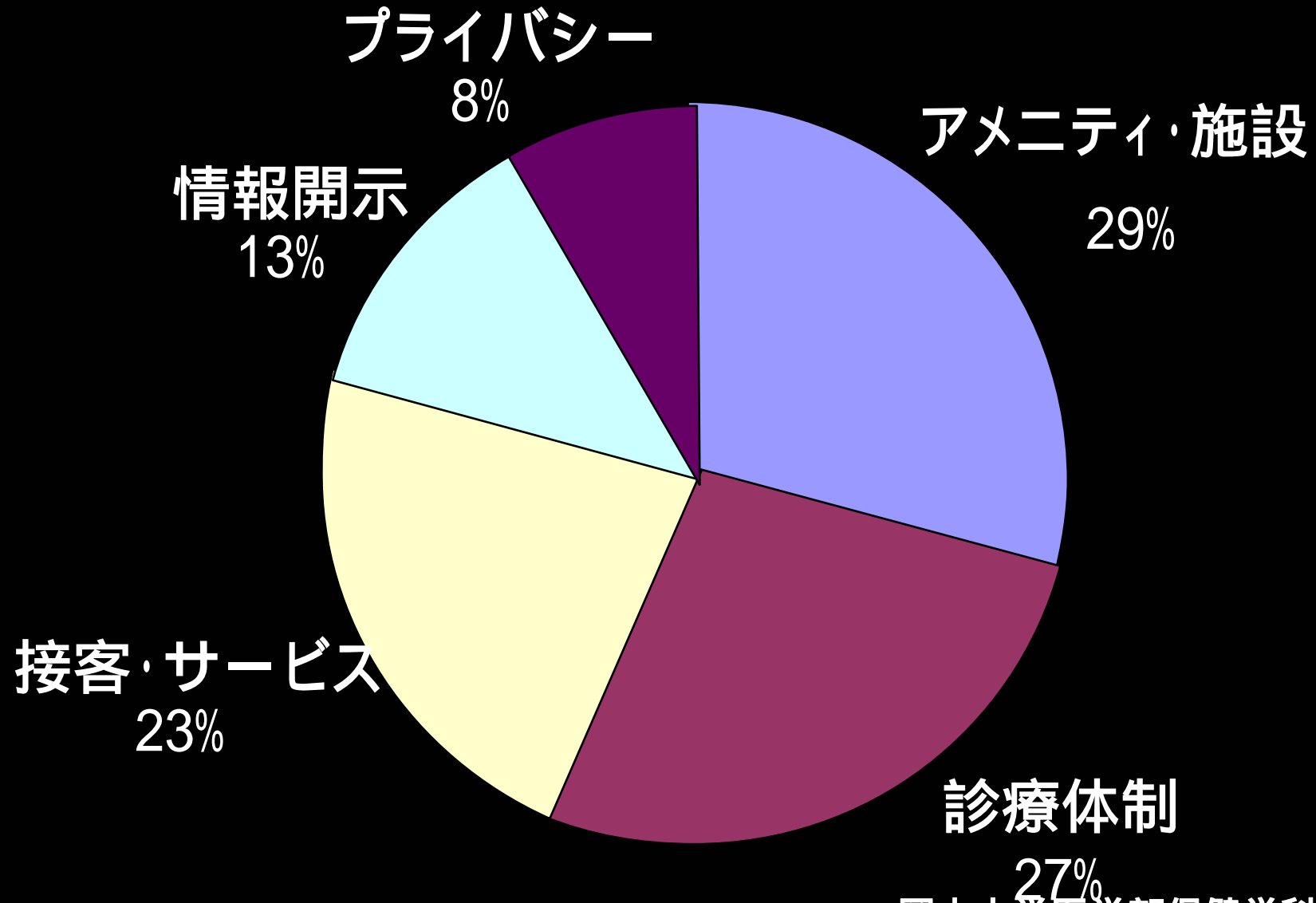
人材  
診療体制  
設備

# 評価基準の細分類

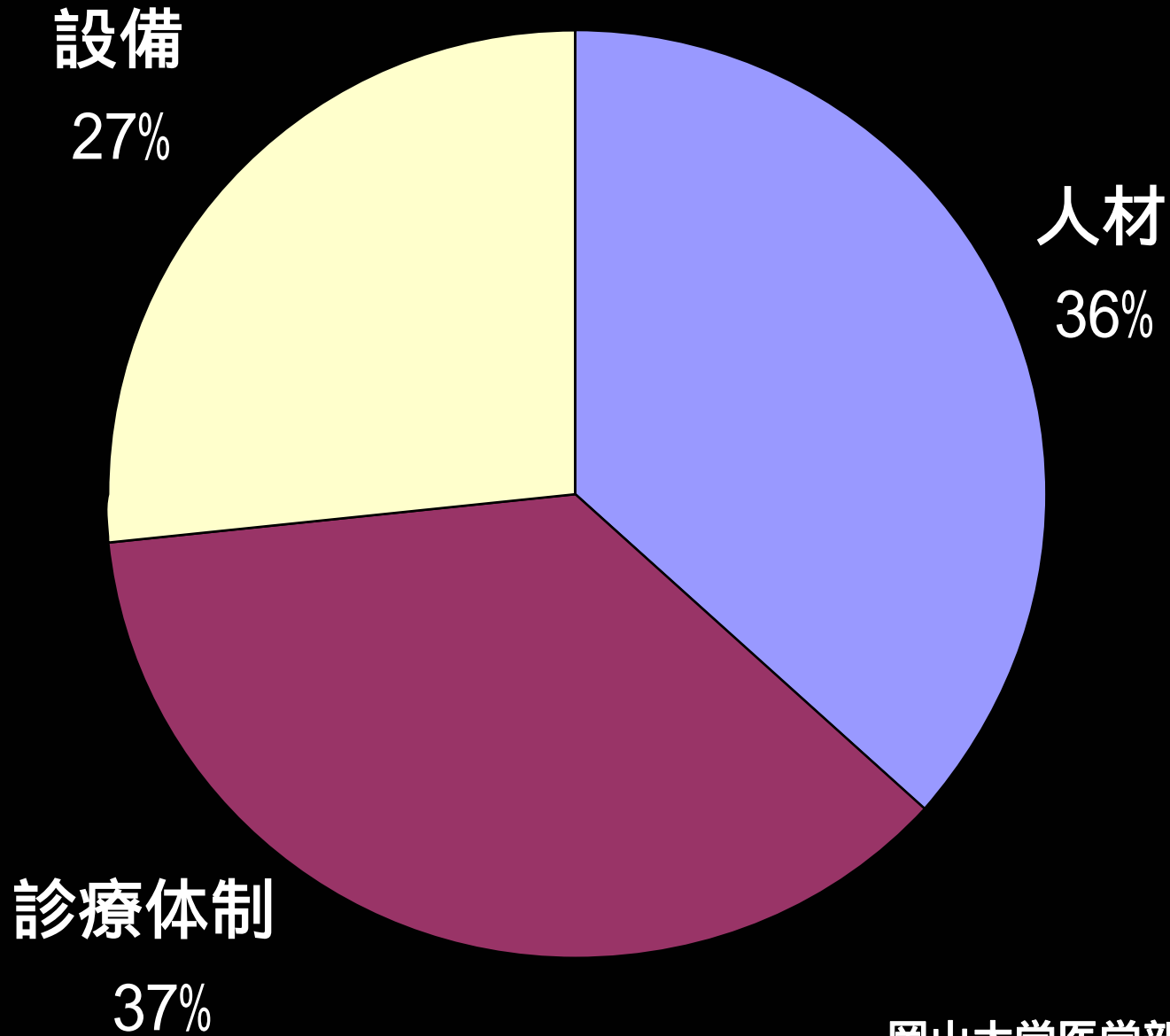
安全重視

システム  
人材

# 患者にやさしい



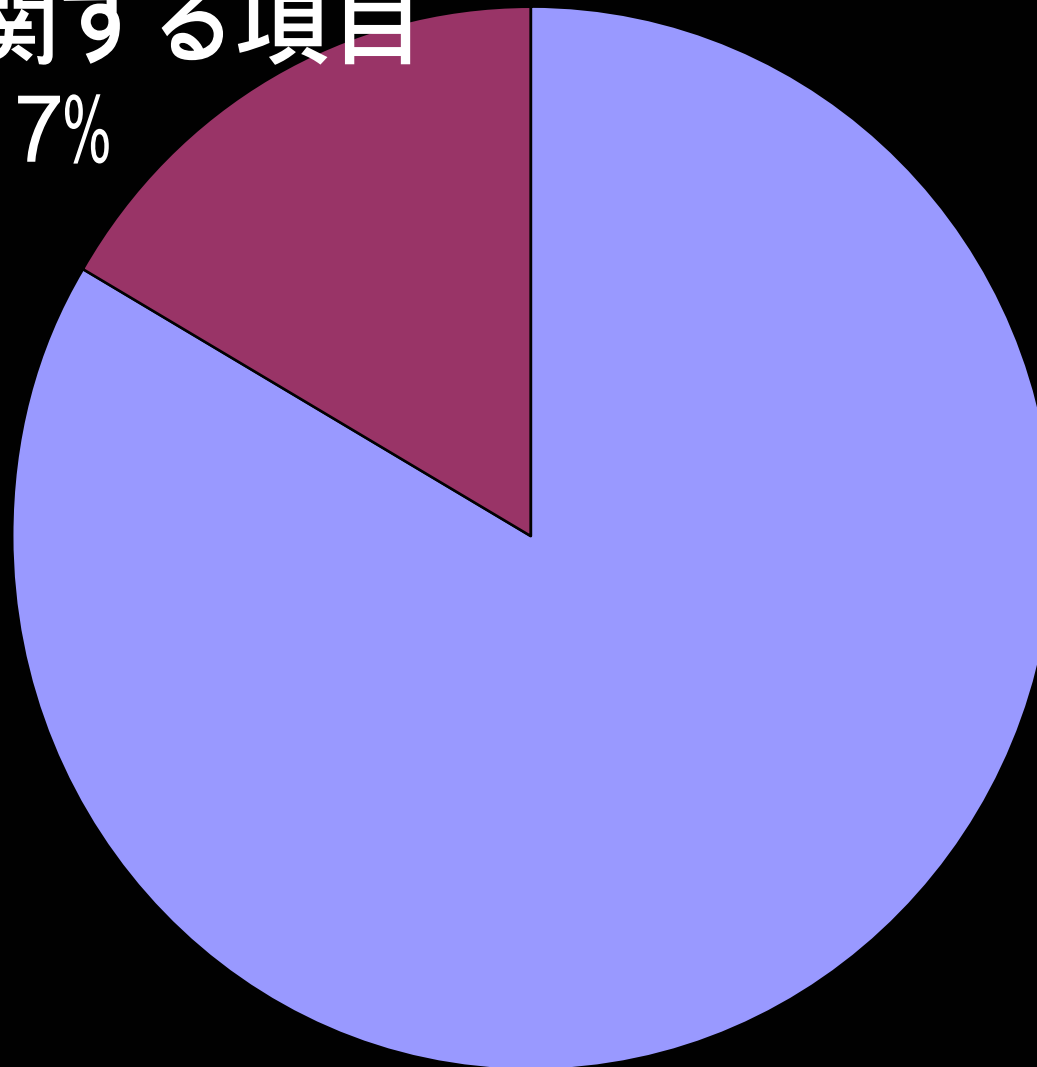
# 医療の質



# 安全重視の項目

人材に関する項目

17%



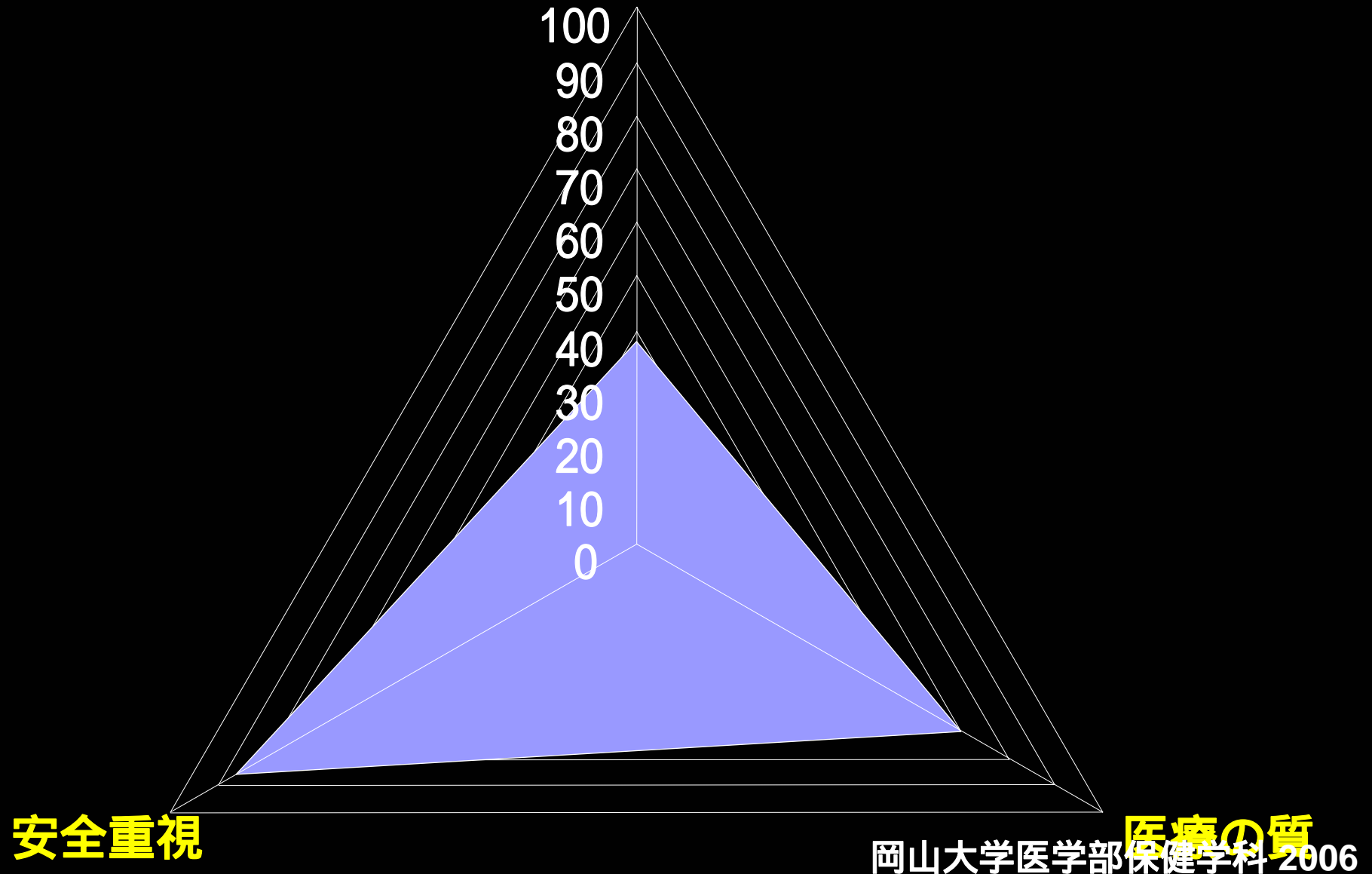
システムに関する項目

83%

# 独自の病院評価リストを使用してみると・・・

岡山市内 A病院

患者にやさしい

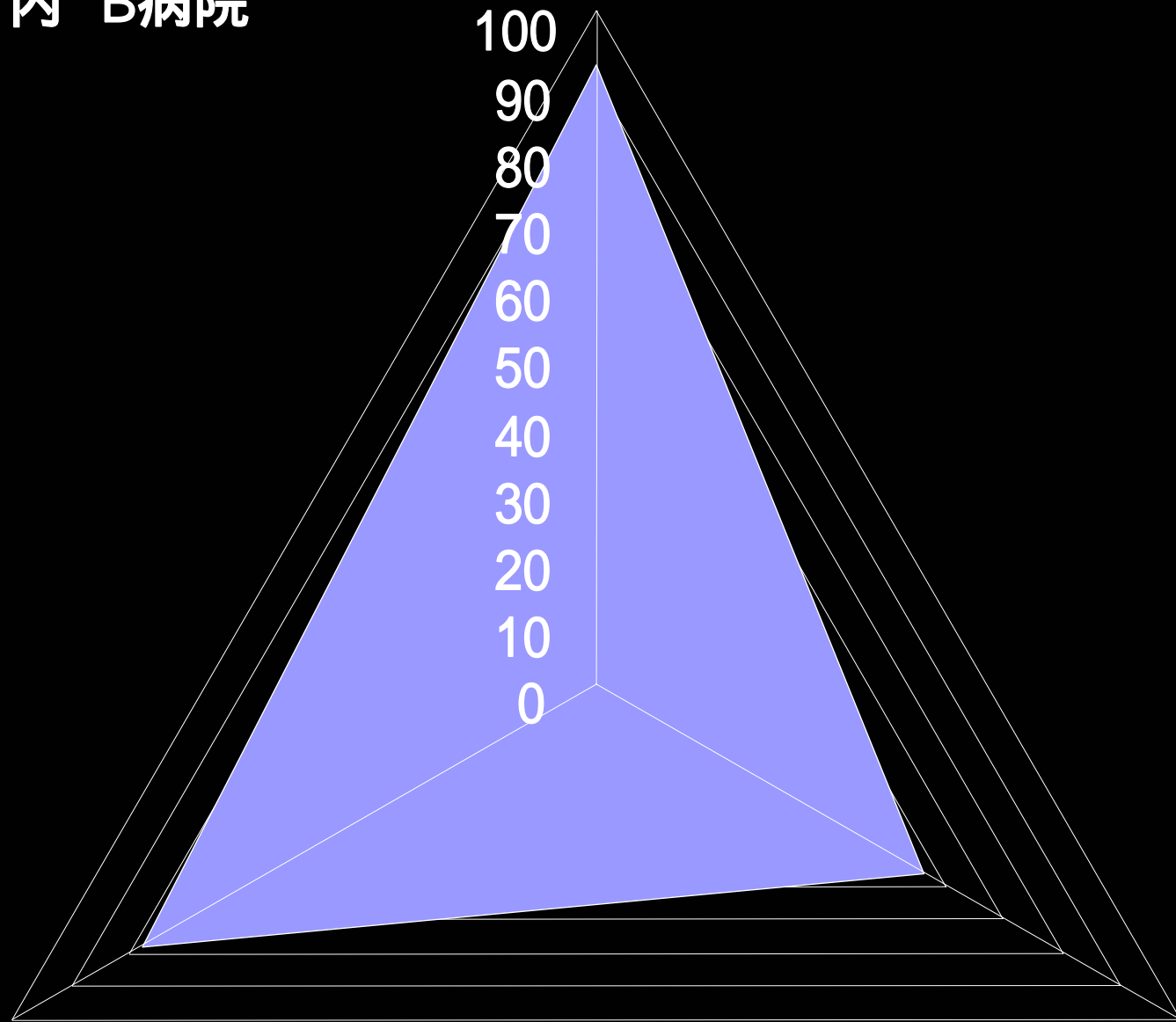




# 独自の病院評価リストを使用してみると・・・

岡山市内 B病院

患者にやさしい



安全重視

岡山大学医学部保健学療2006 医療の質

# 考察

# 私たちの病院評価リストの問題点

- ・ 実際に評価リストを自分達でつくり、ある病院を評価してみると評価しづらい項目がいくつかあった。

患者、個々でどう思うかにより左右される項目  
病院の内部事情などその病院で働いている人にしかわからない項目、など

患者に聞かないとわからない項目(個人差がある)

14項目 = 10%

スタッフでないとわからない項目

12項目 = 8%

# 私たちの病院評価リストの問題点

- ・病院によっては、ホームページから、種々の情報を詳しく得られる病院もあった。

実際、患者が病院を選ぶ際に、簡単に病院の情報を得られることが重要である。

情報を開示しているかどうかも、病院を選ぶ基準にすべきかもしれない。

# 私たちの病院評価リストの問題点

- ・ 「経営を重視している」という項目も、最初は評価基準として考えたが……

病院の内部事情を知る人にしかわからない。  
必ずしも、経営重視と良い医療とが共立しない。  
場合によっては、経営重視のために、他の項目を切り捨てている可能性もあるため、今回はこの項目は削除した。

# 考察

## 「患者にやさしい」に関する項目

- ・ 「患者にやさしい」の項目では、アメニティ・施設、接客サービス、診療体制など、従来から考えられている患者サービスに関する項目が全体の8割を占めていた。

しかし、最近、注目されている情報開示やプライバシーの保護に関する項目も全体の2割を占めており、今後はこのような観点からも病院を評価する傾向が強くなるのではないかと考える。

# 考察

## 「医療の質」に関する項目

- ・ 「医療の質」に関する項目数は、人材、診療体制、設備が、ほぼ同じ割合であった。

このことより、医療の質を維持していく上で、それぞれ3つの分野がバランスよく整えられていることが求められていると推測できる。

# 考察 「安全重視」に関する項目

- ・ 「安全重視」の項目としては、人材とシステムがあげられた。

このことは、医療事故を防ぐためには、人材の育成と同時に、整ったシステムを作ることが重要であると考えられる。

その中でも、システムの割合が8割を占めており、人材をもってミスを防ぐのは限界があり、各施設ともシステムの充実に力を入れていることが大切である。



# おわりに

**今回、自分たち自身で、病院の評価をしてみても…**

なんとなく、各自、病院のイメージを持っていたが、このように、具体的な指標にそってスコアリングすることで、病院の評価が客観的になることを再認識した。

病院ランキング本では、大病院が上位に入っていることが多い。しかし、医療の質に関しては優れているが、患者にやさしい、安全重視という観点からは、必ずしも、優れてはおらず、ランキング本をそのまま信じずに、自分の目的に合わせて、病院を選択すべきである。病院には、そのための情報を十分に開示することを望む。